２０２３年１２月（第９１号）

Design

～ 換 気 を 徹 底 し ま し ょ う ～

発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

在宅医療推進研修会を開催します。

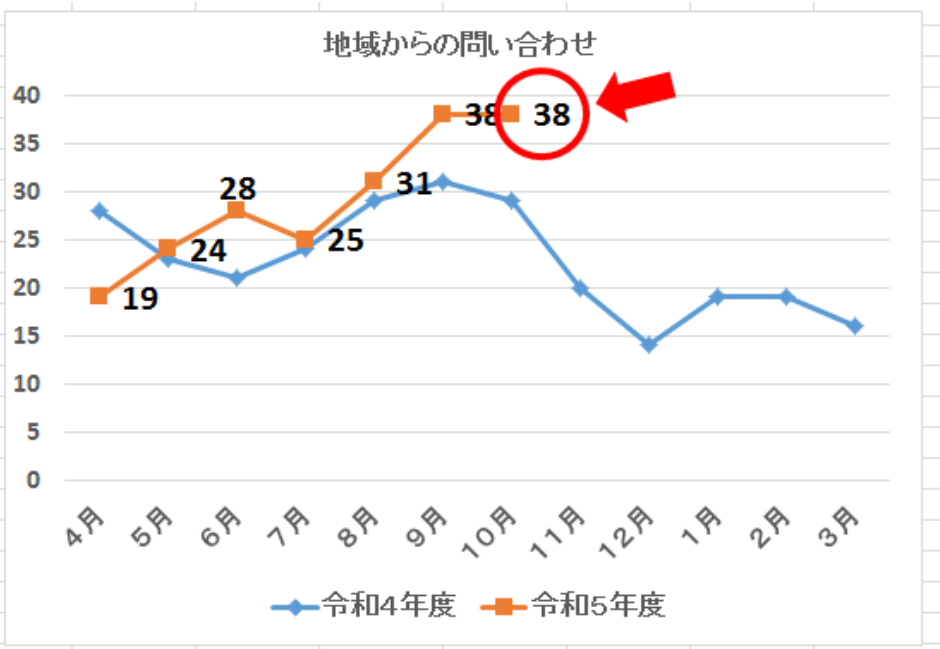
～ 奮ってご参加下さい ～

１１月１７日（金）午後２時～午後３時、在宅医療推進研修会“地域医療を支える『在宅医療』を学ぶ会”を開催します。第１回目の今回は、竹澤健先生（竹澤在宅クリニック院長）に「在宅医療における多職種連携について」と題して、講演して頂く予定です。開催形式はオンラインとなります。是非ご参加下さい。以下のＱＲコードからお申込下さい。

令和５年１０月の問い合わせ状況について

～ いつもありがとうございます ～

９月同様、１０月も３８件の問い合わせを頂戴しました。ありがとうございます。できる限り迅速に受入させて頂きますので、引き続きよろしくお願いします。



年末年始も受け入れさせて頂きます。

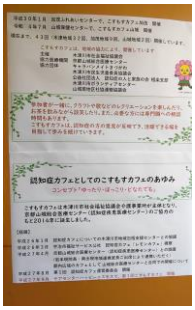
～ お気軽にお問合せ下さい ～

年末年始、地域の先生方のお休みのため、一時的に在宅医療が途切れる場合などに地域包括ケア病棟“彩り”をご利用下さい。（担当：松田・中嶋）

０７７４－７３－１８１８

地域医療連携室より

～ 地域の皆様と共に ～



１０月１４日（土）、アスピア山城で開催された「きづがわ福祉フェスティバル」で、木津川市社会福祉協議会が２ヶ月に１度、開催されている“こすもすカフェ”（認知症カフェ）がブースを出されましたので、岩本院長と一緒に顔を出させて頂きました。一室を借り切っておられ、壁にはこれまでのこすもすカフェのあゆみについて書かれたポスターが貼られていました。職員の皆さんの手作りのポスターで、温かい気持ちになりました。

岩本院長からミニ講演として、新薬レカネマブについてのお話があり、皆さん熱心に聞き入っておられました。講演の後の質疑応答でも、レカネマブについて質問をされている方がおられ、関心の高さがうかがわれました。

平成２７年８月、第１回“こすもすカフェ”が開催され、これまで開催回数は４０数回になります。当院は、協力医療機関として認知症に関する相談を担ってきましたが、相談の中ではこちらが学ばせて頂くことも多く、大変ためになっています。ありがとうございます。

同日の午後は、認知症疾患医療センターの医療相談担当の中嶋ソーシャルワーカーと共に、「カフェひととき」で開催されている“ひといきカフェ”（主催：芳梅会）にお邪魔しました。

カフェでは、中嶋ソーシャルワーカーより、認知症疾患医療センターの役割やもの忘れ外来の受診方法などについて説明させて頂き、皆さん熱心に耳を傾けてくださいました。交流会では、ご家族から介護について貴重が体験をお聞きすることができ、大変勉強になりました。ありがとうございました。

＊

当院は、平成２６年３月、京都府より認知症疾患医療センターの指定を受け、９年が経過しました。認知症の鑑別診断の他、市町村が実施している初期集中支援チームにチーム員として出席したり、研修会やカフェなどでお話させて頂いています。認知症になっても、住み慣れた地域で住み続けられるよう、地域の皆様と共に支援したいと思っていますので、引き続きよろしくお願い致します。（地域医療連携室　室長　南出　弦）